

島根県小学校長会は、百九十一名の会員がそれぞれ個性や得意な分野を生かしながら「未来社会を創るしまねの子供たちの姿」を慮り、その力を集結させ、子供たちの未来、島根の教育の未来に目を向けて活動を推進します。今年度は、「第六十三回島根県小学校長会教育研究大会飯石大会」を開催するとともに、令和四年に開催される「第七十四回全国連合小学校長会研究協議会島根大会」の準備を全員で進めながら、会員相互や関係機関等との連携・協働していく大切な機会としていきたいと考えます。

今年度の島根県小学校長会長に選任されました。会員の皆様のご支援・ご協力を得ながら各事業を推進し、本会をさらに活性化させることで、島根県の小学校教育の充実を図り、子供たちの健やかな成長のために努力したいと 思います。

### 一 活動の方針

OECD Education2030 プロジェクトの報告書では、二〇三〇年の社会は、「VUCA（不安定、不確実、複雑、曖昧）」が急速に進展すると述べられています。私たちは、そのような社会を生きる子供たちに力を育む必要があります。その力を育むとは、「学習指

互につながりをもとにして、真摯に研究と実践を積み重ね、本県の小学校教



# 校長会報

## 未来社会を創る子供たちの姿を見据え 連携・協働して

島根県小学校長会長

越野和胤

(松江市立内中原小学校)

令和3年度 第1号  
発行所  
島根県小学校長会  
事務局  
松江市母衣町55  
県教育会館内  
TEL (0852)27-8530  
FAX (0852)67-3360

島根県小学校長会の  
さらなる発展に期待します

前島根県小学校長会長

中村次郎

育の充実・発展と教育諸条件の整備に努め、成果を収めてきました。今年度は、百九十一名の会員がそれぞれ個性や得意な分野を生かしながら「未来社会を創るしまねの子供たちの姿」を慮り、その力を集結させ、子供たちの未来、島根の教育の未来に目を向けて活動を推進します。今年度は、「第六十三回島根県小学校長会教育研究大会飯石大会」を開催するとともに、令和四年に開催される「第七十四回全国連合小学校長会研究協議会島根大会」の準備を全員で進めながら、会員相互や関係機関等との連携・協働していく大切な機会としていきたいと考えます。

コロナウイルス感染症に翻弄された令和2年度でした。県校長会としての活動を振り返っても、県外との会合は年度後半になつてやつとりモートでの顔合わせとなり、研究大会も全国・中国・県すべてが誌上開催となる異例の年度でした。そのような中で安来市校長会の皆様には、県大会の準備や集録の作成をいただいたことに対し感謝申し上げます。

### 二 主な事業内容

- (1) 総務、調査研究、対策、広報の四部会を構成して事業を推進する。
- (2) 飯石郡小学校長会と連携し、「第六十三回島根県小学校長会教育研究大会飯石大会」を開催する。
- (3) 小・中学校長会で教育条件改善対策委員会を組織し、関係機関と連携を密にしながら教育条件の改善・充実に努める。
- (4) 本会の諸活動を記録し、会員の研修と連携を目的とした「校長樹林」「校長会報」を発行する。また、HPを通して諸活動の広報になります。

これまで本県小学校長会は、会員相くとともに、グローバルな幅広い視野で教育活動を創造していくことが重要です。これまで本県小学校長会は、会員相たる。この実現と検証を図り、効果的なカリキュラム・マネジメントを確立していくと連携して、社会に開かれた教育課程の実現と検証を図り、効果的なカリキュラム・マネジメントを確立していくと連携して、社会に開かれた教育課程の実現と検証を図り、効果的なカリ

ス感染症の終息が見えない状況で学校運営に苦慮することも多いと思います。新たに導入されたタブレットの活用、「働き方改革」の推進、常勤職員不足への対応等と取り組む課題も山積しています。全国大会の開催準備も進める中で会員の皆様の力がこれら課題の解決に向けて「連携・協働」する形で結集され、島根の教育が子供たちにとってよりよいものとなることを祈念します。

## 全員の力を合わせて

副会長 高 橋 均



(出雲市立中部小学校)

今年度、県小学校長会の副会長の大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。微力ではありますが、少しでも皆様のお役に立てるように、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度に入つても新型コロナウイルス感染症の勢いは衰えをみせず、細心の注意を払いながらの学校生活が続いています。昨年度から一年以上の長い期間にわたる不安や焦り、不自由さの中で、子どもたちはもちろん、ご家族や地域の皆さん、教職員にも、目に見えないストレスが蓄積され、疲弊してきているようを感じます。

そして、このことが直接・間接の原因となつて、いじめや暴力などの問題行動、不登校やうつ症状などの形で、徐々に外に表れてきつつあることを、とても心配しています。

この危機的な状況の中、子どもたちの命を守り、健やかな成長を保障する

ため、我々校長が状況を的確に捉え、迅速かつ適切な判断を下さなければならぬ場面が増えてきています。また、効果的な手立てを講じ、自ら率先して教職員をまとめ、リードしていく機会も多くなっています。

そんな予測困難な厳しい状況の時に、一人職である校長の心の拠り所となるのが「校長同士のつながり」です。この小学校長会のネットワークを活かし、情報交換を密にして、互いの知恵を結集して難局に対処していくことが、これまで以上に強く求められています。

今こそ県内百九十一名の会員の心を一つにして、島根の小学校教育の維持・発展に貢献できる校長会をめざして、一緒にがんばりましょう。

## つながりを大切にして

副会長 木 村 真 介



(邑南町立口羽小学校)

今年度は、コロナ禍での学校経営が続く中、いよいよ来年に迫った「全国連合小学校長会研究協議会島根大会」に

向けて実行委員会体制で準備を進めま

す。島根県小学校長会にとつて多忙な一年になりますが、県内の校長先生方とのつながりを大切にして副会長の任を務めさせていただきます。微力ではありますがあろしくお願ひいたします。

これまで、益田市小学校長会、邑智郡小学校長会に所属させていただき、研究や研修を通して、そして、先輩の校長先生方の実践から多くのことを学び、自校の経営に生かしてきました。特に新型コロナウイルスに翻弄された昨年度は、教育活動をどのように進められたか戸惑うことが多く、他校や他地域の取組の様子を伺うことが大きな支えとなり、あらためて校長会のネットワークの大切さを感じました。

今年度は、新しい学校の生活様式が概ね定着してきましたから、子ども達が安心して安全に学校で生活できる環境を整え、学びの保障に力を入れた取組が必要です。昨年度は「主体的・対話的で深い学び」を掲げた学習指導要領の完全実施となりましたが、量的な学びの保障が差し迫った課題となりました。

副会長 仙 田 浩 志



(松江市立持田小学校)

今年度、副会長を務めさせていただきました。

越野会長の方針の

下、今年度の島根県小学校長会では、飯石郡での県大会の実施や全連小島根大会の前年度準備、県教委との意見交換会の実施など、重要な行事や会務が行われる予定です。感染予防に配慮しながら各行事の目的を達成していくた

めには、様々な困難も予想されます。いつもの年以上に会員の皆様のご協力が必要になつてくると思いますので、よろしくお願ひいたします。

昨年度は事務局長として、各市郡の理事の皆様を始め、県内の校長先生方

の役割が見直され、学び方が大きく変わつていくことは、今までの課題を解決し、新しい教育を創造するチャンス

でもあります。ここで私たちは何をなすべきかを皆さんと一緒に考え、結果につながる実践をしていきたいと思います。

に支えていただいて、県小学校長会事務局の業務を何とか遂行することができました。昨年度皆様から頂いた様々なご支援・ご協力に、心より厚くお礼申し上げます。

また、県小学校長会の専門部会において、主に対策部に籍を置き、県小中学校長会教育条件改善対策委員会の仕事等に携わって参りました。その際も、県教委に対して現場の実情や施策要望について伝えるにあたって、多くの対策委員の皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。

今年度は広報部会に所属することになりました。会長が「活動の重点」の一つに掲げられた「会員への情報提供と所属意識を高める広報活動」に向けて、我が国的小学校教育の現状と方向性、その中での県内の取組等、皆様の学校経営に役立つ情報を交流する場となるよう努めたいと思います。また「校長樹林」や「校長会報」等の作成に関して、担当市郡や担当者の皆様がスムーズに編集・執筆等の作業ができますようお世話をさせていただきたいと思います。

お二人の副会長とともに越野会長を支えて、島根の子どもたちのために努力してまいりたいと思います。一年間よろしくお願い致します。

## 令和3年度 島根県小学校長会

### 事業計画

#### \*島根県小学校長会

- (1) 活動の具現化、事業の推進を図るための会議を開催し、関係団体の会議へ出席する。

- ① 理事・評議委員会(一回)、理事会(三回)、常任理事会(一回)を開催する。

- ※新型コロナウィルス感染症への対応により変更する場合あり。

- ② 理事会は、総務、調査研究、対策、広報の四部会を構成して事業を推進する。

- ③ 第三回理事会の中での意見交換会を実施する。

- ④ 県の各審議会等に関係団体として参加し、小学校教育の立場から意見を反映させるとともにその目的達成に寄与する。

努める。

- (4) 本会の諸活動を記録し、会員の研修と連携を目的とした「校長樹林」(年一回)「校長会報」(年三回)を発行する。また、HPを通して諸活動の広報にあたる。

- (5) 教育計画や教育活動の記録等、日々の教育実践の効率化を図るために、「教育記録」の編集を行い、定期的に改訂する。

#### \*全国連合小学校長会、中国地区小学校長会との連携

- (1) 全国連合小学校長会と連携して教育課題を究明し、課題解決にあたる。

- ① 総会や理事会および各種委員会や担当者会に参加し、全連小との連携を推進する。

- ② 「小学校時報」を購読するとともに、教育研究シリーズの購読を促進し自己研鑽を深める。全連小の考え方や新しい教育情報や教育改革の動向、報や教育改革の動向、全国の校長会の活動を迅速に伝える「全連小速報」を活用し、学校経営に生かす。

会研究協議会島根大会」の開催に向けた準備を全連小と連携しながら進め、大会運営やスケジュール等の計画を作成する。

- (2) 中国地区小学校長会と連携し教育課題を究明し、課題解決にあたる。

- ① 理事会・連絡協議会(一回)、理事会(二回)に参加し、連絡調整を行ふ。

#### (2) 令和四年の「第六十九回中国地区小学校長会教育研究大会島根大会」の開催に向けた準備を中国地区小学校長会と連携しながら進め、大会運営やスケジュール等の計画を作成する。

- ① 令和四年の「第六十九回中国地区小学校長会教育研究大会島根大会」の開催に向けた準備を中国地区小学校長会と連携しながら進め、大会運営やスケジュール等の計画を作成する。

- ② 令和四年の「第六十九回中国地区小学校長会教育研究大会島根大会」の開催に向けた準備を中国地区小学校長会と連携しながら進め、大会運営やスケジュール等の計画を作成する。

R3.4.1 現在

市郡	基礎数 (専任校数)	一般会計負担金 学校割	特別会計負担金	総計
松江市	31	868,000	310,000	1,178,000
安来市	17	476,000	170,000	646,000
出雲市	33	924,000	330,000	1,254,000
雲南市	15	420,000	150,000	570,000
仁多郡	10	280,000	100,000	380,000
飯石郡	4	112,000	40,000	152,000
浜田市	16	448,000	160,000	608,000
大田市	15	420,000	150,000	570,000
江津市	7	196,000	70,000	266,000
邑智郡	11	308,000	110,000	418,000
益田市	14	392,000	140,000	532,000
鹿足郡	9	252,000	90,000	342,000
隠岐郡	9	252,000	90,000	342,000
計	191	5,348,000	1,910,000	7,258,000
一般会計(学校割)		28,000 円	特別会計	10,000 円

※義務教育学校、小中一貫校(校長1名配置)の取り扱いについて

負担金(一般会計、特別会計、臨時会費等)は所属する籍の校長会へ納付する。

【令和3年度：松江市：八束学園、玉湯学園、大田市：北三瓶小中、益田市：匹見小中、隠岐郡：知夫小中、西ノ島小中】

# はじめまして

## 新任校長より

すてきな母里の地で

小林 裕昌

(安来市立母里小学校)



「ここは日本一小さい城下町だから。」

地域の方が言われた

その言葉が耳に残つ

ています。ここ母里は、一六六六年に松江藩の支藩として創設され、伯太川から引かれた水路が街中を流れ、路地と木の格子戸が江戸時代からの歴史と風情を今に伝えている素敵なところです。松江城下の塩見縄手が大好きな私にとっては、最高の赴任地といえます。

登校してくると、さわやかな挨拶とともに、校旗をあげに行く子どもたち。穏やかで親切な人が多く、そして歴史と伝統を行っていくか、現在実態把握の最中です。地域を見て回り、話を聞き、学びながら、そのよさの活かし方を決めていきたいです。

明るく楽しく元気よく、失敗をおそれずにいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。

笑顔とありがとうございますがあふれる学校をめざして。

豊かな緑、美しい日本海、温かい地域の方に囲まれた島根町の子どもたちのために頑張ります。

飯塚 由紀子  
(島根小学校)



石橋 裕子  
(佐太小学校)



④かるく元気で  
⑤のちを大切に  
⑥しこく考える  
秋鹿っ子を育てます

田中 晶子  
(秋鹿小学校)



湯浅 哲司  
(能義小学校)

④びのび表現する子  
⑤づかうやさしい子  
⑥よい体をつくる子  
⑦きょうを愛する子  
「のきっこ」を育てます。



青砥 玉枝  
(宇賀荘小学校)

職員も児童も、「想い」をもち、力を合わせて挑戦し続けます！

安達 利幸  
(宍道小学校)



高橋 保  
(飯梨小学校)

学校・保護者・  
地域と共に子どもが  
「レッツ チャレンジ！」  
できる環境づくりを  
していきます。

玉木 宏明  
(布部小学校)

「笑顔があふれ  
笑い声がこだまする学校」に向けて、  
全教職員で取り組んでまいります。

一人一人のもちあじを引き出し、  
たくましく活気のある  
学校づくりに力を尽くします。



大瀧  
正紀  
(みなみ小学校)

「みんな なかよし みな元気」  
子どもたちも教職員も、  
このキャッチフレーズが実感できる  
学校経営に努めます。



椿  
英隆  
(安田小学校)

小・中・特別支援学校、行政。  
これ以上は…のはずが、  
幼稚園園長兼務。コンプリート!!



青山  
巧  
(南小学校)

「や」さしく  
「す」こやかに  
「だ」れもが学びあう  
安田っ子を育てます。



山根  
肇  
(さくら小学校)

17名の児童が、「わくわく  
にこにこ じぶんに ちょ  
うせん」できる学校をめざ  
して、がんばります。



村上  
真澄  
(西田小学校)

「佐香小と久多美小が  
統合して6年目となる  
『さくら小学校』、  
笑顔満開の学校に！」



梶谷  
康和  
(鶴淵小学校)

開校 148 年目を迎えた  
西田小学校です。  
よき伝統を未来へ繋げる  
よう頑張ります。

一つ目は、校長室にあった応接セットを簡素な長机と椅子に交換したことです。校長室で行う企画会などの小会議がぐつとやりやすくなつたと思えるのは自己満足でしょうか。

二つめは、本来苦手な掃除と整頓をこまめにすることです。今後の継続が最重要課題です。

三つ目は、前任校の校長室を参考に、児童と教職員の顔写真を壁に掲示したことです。マスクをつけない顔写真を見ると何か新鮮な気持ちがしてきます。早めに子ども達一人一人の名前を呼んで話しかけられるようになろうと、写真の前に立って、子どもの顔と名前を一致させる作業を繰り返しています。

をほぼ私一人で占有する立場と責任を感じるようになりました。そこで、来室された方になるべく気持ちよく過ごしていただこうと考えて、次の三つのことを実行しました。



木色 泰樹  
(出雲市立須佐小学校)

## 校長室から思うこと



梅木  
喜嗣  
(西小学校)

西小といえば「コウノトリ」  
ですが、子どもが自分の学校を  
自慢できる教育を進めます。



妹尾 義則  
(窪田小学校)

複式学級の強みって何？  
そのよさを子供も教職員も追求し、「心の  
底から笑い合える学校」を目指します。

## 明日も笑顔で きたくなる学校に

**濱岡 宏行**

(大田市立池田小学校)



「おはようございまーす！」

校庭のはるか向こ  
う側の正門から、大

きな声で聞こえてくる子どもたちの声が  
聞こえます。着任早々びっくりしま  
した。

『先手あいさつ』初めて聞いた心地よ  
い言葉でした。この学校での子どもたち  
にすばらしい言葉が浸透しています。前  
校長先生より引き継ぎながら継続したい  
実践力ある言葉だと思いました。

この挨拶にいつも昇降口前から手を  
振って迎えるうれしさはこの上ありません

。一人ひとりが今日はどんな顔をして  
学校に来てくれるだろうかとあいさつを  
しながら表情を見ます。子どもたちが

『笑顔』で学校に来てくれるといいな  
思う幸せです。そんなことを感じながら  
毎朝、昇降口前に立っています。

『三瓶山のように根を据え高く』

子どもたちの生き抜く姿をこの先手あ  
いさつで垣間見た気がします。そんな  
二十三名の子どもたちとともに校長とし  
て成長していくこうと思っています。

64名の元気で  
さわやかな児童とともに  
私自身も成長していき  
たいと思います。

**和泉 雅史**  
(頃原小学校)

「田井の宝」である  
11名の子ども達一人一人が  
豊かに成長できるよう  
力を尽くします。

**井上 孝弘**  
(田井小学校)



保護者・地域の方と一緒に  
「笑顔をキラキラ輝かせ  
ふるさと飯南を愛する  
子どもたちを育てます」

**川上 賢弘**  
(赤名小学校)

かつての新採の地に  
校長として赴任、  
さわやかに、  
「みんなが元気な学校」  
をめざします。

**横田 裕二**  
(静間小学校)

合言葉「み・か・わ」  
～みんなが かがやく  
わたしたちの学校～  
を目指して、明るく、  
元気いっぱいがんばります。

**大達 高弘**  
(美川小学校)

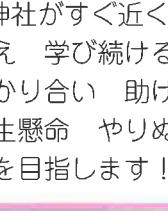


「ふるさとに足を踏ん張り、  
世界を見渡す子ども」  
の育成をめざし  
尽力します。

**小松原 弘之**  
(朝波小学校)

三瓶山への入口  
物部神社がすぐ近くです。  
か…考え 学び続ける子  
わ…わかり合い 助け合う子  
い…一生懸命 やりぬく子  
を目指します！

**坂田 幸義**  
(川合小学校)



世界遺産の町にある大森小学校に赴任しました。  
自然と文化と史跡を大切にし、明日を創り上げる  
大森っ子を育てるため、  
みんなと力をあわせてがんばります。

**出川 政司**  
(大森小学校)

世界遺産の町にある大森小学校に赴任しました。  
自然と文化と史跡を大切にし、明日を創り上げる  
大森っ子を育てるため、  
みんなと力をあわせてがんばります。

「一人一人が輝き、笑顔あふれる邑智小学校」の実現をめざし、努力を重ねていきます。



生越  
徹  
(邑智小学校)

南口  
周哉  
(桜江小学校)



コミュニティスクールの理念に向かう  
大田市、仁摩小。  
前進できるよう努力します。



舟木  
志郎  
(仁摩小学校)

コミュニティスクールのよさを生かし、「地域とともに学び、歩み続ける学校」を目指します。



村上  
剛  
(戸田小学校)

佐々木  
拳匡  
(矢上小学校)



新採として7年勤めた思い出深い学校に赴任しました。笑顔溢れる学校をめざします。

だれもがいきいきわくわく 大和っ子をめざして、精一杯頑張ります。



上田  
忠則  
(大和小学校)

人との関り大切にし、思いやりのある子どもたちを育てます。



糸賀  
昌幸  
(蔵木小学校)

「なかよく かっこよく」を合言葉に、児童17名とともにがんばります。



杉原  
貴宏  
(朝倉小学校)

この赴任の一歩目を迎えるまで、考えれば考えるほど不安な気持ちになつていだ。それをほぐしてくれたのは、同級生校長のアドバイス、先輩校長の激励、親友からの花束、親戚や友達からのお祝い。感謝しかない。

前任校で共に過ごした先生が三人おり、一緒に着任した先生も一人いるのは、不安の中での大きな安心感。学校企画課からの「新しく校長に昇任された方々へ」では、心が軽くなつた。たくさんの支えがあつてこそなんとかスタートできました。

教頭時との景色の違いや校長室の居心地の悪さを感じながら、新しい毎日が一日過ぎていく。

謙虚に学び、新天地に溶け込み、背伸びせず、私は私でいこうと思う。

この赴任の一歩目を迎えるまで、考えれば考えるほど不安な気持ちになつていだ。それをほぐしてくれたのは、同級生校長のアドバイス、先輩校長の激励、親友からの花束、親戚や友達からのお祝い。感謝しかない。

前任校で共に過ごした先生が三人おり、一緒に着任した先生も一人いるのは、不安の中での大きな安心感。学校企画課からの「新しく校長に昇任された方々へ」では、心が軽くなつた。たくさんの支えがあつてこそなんとかスタートできました。

教頭時との景色の違いや校長室の居心地の悪さを感じながら、新しい毎日が一日過ぎていく。

謙虚に学び、新天地に溶け込み、背伸びせず、私は私でいこうと思う。

中尾 瑞紀  
(津和野町立津和野小学校)

## 不安と感謝

## 学校紹介

**表現力を伸ばす取組を通して、生き生きとした活力ある学校に**

加藤春生

(奥出雲町立鳥上小学校)

鳥上小学校は、「たたら製鉄」で有名な奥出雲町の東端に位置する全校児童十四名の極小規模の学校です。近くには、かたくりの花で有名な「船通山」もあり、毎年遠足登山を行うなど自然の中で伸び伸びと育つことができる環境にあります。

本校では、昨年度から自分の気持ちや考えを堂々と伝えることができるように育つてほしいという願いから表現力を育てる取組を行っています。小規模校の良さは、小回りが効き、色々なアイデアが実現しやすいところにあります。一学期には、歌手の木山裕策さんと



ブでの歌のコラボをし、「生きる」という思いを全国に発信しました。そして、十月には、木山さんと地域の方を招いてミニコンサートも実現できました。

また、元劇団四季の池田汰生喜さんを外部講師に招き、「響かせたい私たちの声」プロジェクトと称し計

十五回、子どもたちの演劇指導をしていただき、学習発表会では池田さん作「学び舎は水上の風」の演劇を

全校で堂々と披露することができます。これらの取組は新聞やテレビでも取り上げてもらい地域の方にも

元気を与えることができたと思っていました。コロナ禍ということで感染対策にも気を配りましたが、「教育の質を落とさない」ということを肝に銘じ、表現力育成のために取り組みました。今年度も引き続き、このプロジェクトに取り組みます。ロジック構想に合わせて広島県ギガスクール構想に取り組みます。また、

三原市の木原小学校と「フレンズスクールプラン」として、オンライン交流を始めました。子ども同士がお互いの学習を交流し合いながら、思考・判断・表現力を磨いています。

コロナ禍でも、子どもたちが自信をつけ、生き生きと活力あるそして、地域に元気を与えるられる鳥上小学校を目指して取り組んでいきます。

## 松江市立玉湯学園の歴史の扉が、今、ここに大きく開かれました

前田眞利

(松江市立義務教育学校玉湯学園)



令和三年四月、大谷小学校と玉湯中学校が統合され、新校舎と旧中学校校舎とを廊下でつなぎ施設一体型の「松江市立義務教育学校玉湯学園」として開校しました。全国的にもまれ

な木造三階建の新校舎は、約70軒の家が建つほどの県内産の木材がふんだんに使われ玄関ホールをはじめとする大きな柱に囲まれ、温かみや柔らかさのみならず自然のもつ莊嚴さや力強さに包まれているような気分を抱かせます。

また、それぞれの校舎に体育館・図書館・保健室があり、同じ敷地内には幼稚園と児童クラブが併設されています。さらに200メートルトラックが二面とれるほどの広さの校庭は圧巻です。

さて、本校では一年生から九年生までを「四・三・二」という教育区分に分け、それぞれを「前期・中期・後期」というブロックで示し、中期の五・七年生は旧中学校校舎(第二校舎)、前期の一・四年生、後期の八・九年生は新校

舎(第一校舎)で過ごします。

このような施設設備の利点に加え教育区分を生かす取組の一つに、中期ブロックの五年生から一部

ブロックからの児童教科担任制を取り入れます。また、中期業の開始なども計画しています。さらに、行事等では一昨年度より年間行事計画を話し合ってきました。特に、

二つの体育館と広い校庭というメリット

を生かした文化祭や体育祭の実施、玉湯町行事との連携も踏まえた取組も検討しています。しかし、このコロナ禍の中で変更や改善を余儀なくされ、話し合いの連続は教職員にかなりの負担をかけていることは事実であり、言うは易く行うは難しといったところです。

しかし、それぞれの学校で学んだ伝統・文化、生きる力を受け継ぐとともに、これから的新しい歴史・未来を創造していくいかなければなりません。九年間を重視した授業づくりを押し進め、さらに見通した教科指導の充実、学びの接続を

は「地域で子どもを育てる」という理念が浸透しているこの玉湯町において、「地域とともににある学校」をめざすとともに「学校を核とした地域づくり」に貢献ができるように取り組んでいきます。



# 事務局だより

事務局長 高橋和弘

(松江市立大野小学校)

今年度、事務局長を務めさせていた  
だくことになりました。微力ではござ  
いますが、本会の充実と発展のために  
努力してまいります。会員の皆様のご  
理解とご協力をよろしくお願い申しあ  
げます。

さて、この「事務局だより」では、  
本会の事業の様子を会員の皆様にお伝  
えし、情報提供の場といったします。

今回は、第一回理事評議員会等の内  
容についてお知らせいたします。会で  
承認された議事の内容及び今年度の研  
究大会の概要等をお知らせします。

## 一 第一回理事評議員会

四月二十八日(水)に開催しました。

前年度の会務報告や決算報告の後、役  
員改選を経て新年度の体制となり、今

年度の活動方針、予算等について承認  
をいたぐことができました。また、全連小  
研究協議会(石川大会)をはじめ  
各種大会への参加割り当ての確認な  
ども行いました。

越野和胤会長からは、「未来社会を  
を創る子供たちの姿を見据え、連携・  
協働して」をスローガンとし、活動の

基盤や重点等が示されました。  
なお、昨年度末にご退職された校長

先生方全員へ、感謝状を事務局より直  
接郵送させていただきましたのでご報  
告いたします。

## 四 全国連合小学校長会研究協議会 石川大会

は、それぞれ提案発表でお世話になり  
ます。

十月十四日(木)・十五日(金)の両

日、金沢市にて開催される予定です。

昨年度から変更となつた大会主題で  
ある「自ら未来を拓きともに生きる

豊かな社会を生きる日本人の育成を

目指す小学校教育の推進」での開催と

第一回委員総会が、五月七日(金)

に開催されました。前年度の事業報告

と今年度の役員報告、要望活動を中心

とした今年度の活動内容、予算等につ  
いて承認されました。

## 五 中国地区小学校長会教育研究大会 広島大会

三月三十日(水)

広島大会

十一月十二日(金)、呉市において  
開催されます。

中国地区の大会主題も、全連小大会  
の主題変更を受けて、昨年度より前述

の主題となっています。本県から大田  
市が「知性・創造性」、江津市が「社  
会形成能力」の分科会で提案発表され  
る予定です。

※今後も各種大会や会議については中  
止や変更等の可能性がありますので  
ご留意ください。

## 六 島根県小学校長会教育研究大会 飯石大会

三月三十日(水)

飯石大会

越野新会長のもと、三十六名の新任校  
長(再入会を除く)をお迎えし、令和三  
年度の島根県小学校長会がスタートしま  
した。広報部も、会員同士のつながりの  
場、情報交換の場等となるよう努めてい  
きたいと思います。

第一号を発行するにあたり、ご多用の  
中、お世話くださいました理事の皆様、  
ご寄稿くださった皆様に心より感謝申し  
あげます。

越野和胤会長からは、「未来社会を  
を創る子供たちの姿を見据え、連携・  
協働して」をスローガンとし、活動の

## 編集後記

越野新会長のもと、三十六名の新任校  
長(再入会を除く)をお迎えし、令和三  
年度の島根県小学校長会がスタートしま  
した。広報部も、会員同士のつながりの  
場、情報交換の場等となるよう努めてい  
きたいと思います。

越野和胤会長からは、「未来社会を  
を創る子供たちの姿を見据え、連携・  
協働して」をスローガンとし、活動の

(松尾)

## 令和3年度 島根県小学校長会 役員表

役名	校長名	勤務校	役名	校長名	勤務校
会長	越野和胤	内中原		越野和胤	内中原
副会長	高橋均	中部	全連小理事	高橋均	中部
	木村真介	口羽		木村真介	口羽
	仙田浩志	持田	全連小代議員	仙田浩志	持田
監事	八澤慎一郎	荒島		仙田浩志	持田
	板倉宏	平田	中国地区理事	高橋和弘	大野

## 理 事

市郡名	会員数 (学校名)	理事名	評議員名	対策委員名
松江	31	㊂ 森脇紀浩(津田)	小吉 脇崎 洋(城北) 朗(川津)	住久由樹子(中央)
安来	17	春日宏(十神)	八澤慎一郎(荒島)	㊂ 玉木宏明(布部)
出雲	33	㊂ 松岡祐子(稗原)	板倉宏(平田) 原幹夫(塩治)	正木桂二(湖陵)
雲南	15	㊂ 坂田英則(加茂)	伊藤彰彦(木次)	㊂ 原元宏(掛合)
仁多	10	藤原稔(三沢)	桑山悟(高尾)	㊂ 千原一弘(横田)
飯石	4	山崎延男(来島)	山崎延男(来島)	㊂ 古川善正(志々)
浜田	16	三浦秀人(国府)	樋野不二子(弥栄)	㊂ 松本悦教(雲雀丘)
大田	15	矢田悦夫(大田)	山中容子(高山)	㊂ 須藤健(鳥井)
江津	7	平田裕(津宮)	木村孝(渡津)	㊂ 小田公弘(江津東)
邑智	11	㊂ 宇野正一(石見東)	三島伸仁(日貫)	㊂ 生越徹(邑智)
益田	14	㊂ 大橋大(高津)	岡本昌浩(吉田)	中島恵治(安田)
鹿足	9	富田誠一(日原)	澄川弘敏(六日市)	田中茂秋(柿木)
隱岐	9	㊂ 福本美由紀(磯)	熊本直宏(都万)	㊂ 佐々木朗(北)

(会員数 191)

㊂印 常任委員会 理事

㊂印 教育条件改善対策委員会 理事

㊂印 小・中代表

## 事務局幹事

校長名	勤務校	会務分掌	所在地	☎・FAX	校長名	勤務校	会務分掌	所在地	☎・FAX
梶田勝造	大庭	対策	690-0033 松江市大庭町1074	21-4239 FAX 21-4311	松尾 隆	恵曇	広報	690-0323 松江市鹿島町手結201	82-0065 FAX 82-0931
米田靖幸	古志原	調査研究	690-0012 松江市古志原4-6-1	23-9511 FAX 21-9020	田中晶子	秋鹿	調査研究	690-0262 松江市岡本町992-1	88-2007 FAX 88-3156
飯塚由紀子	島根	広報	690-0401 松江市島根町加賀1325-1	85-2018 FAX 85-2134	安達利幸	宍道	対策	699-0401 松江市宍道町宍道1276	66-0352 FAX 66-0565
玉木康之	忌部	調査研究 事務局次長	690-0036 松江市東忌部町915-1	33-2017 FAX 33-2361	高橋和弘	大野	総務 事務局長	690-0265 松江市上大野町1826	88-2064 FAX 88-2986
野津明久	竹矢	対策	690-0025 松江市八幡町379-1	37-0535 FAX 37-2814	建岡浩子	事務局	事務局員	690-0886 母衣町55 島根県教育会館内	27-8530 FAX 67-3360